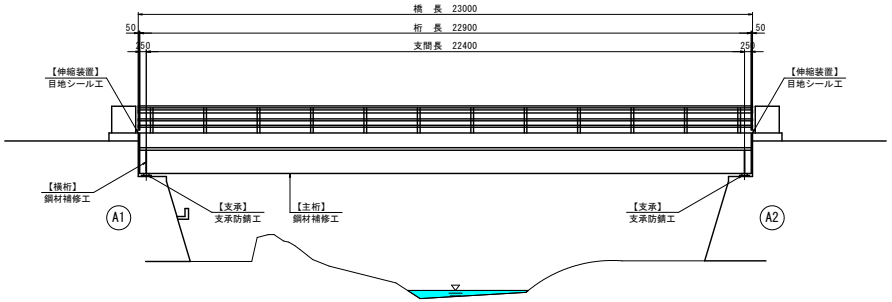
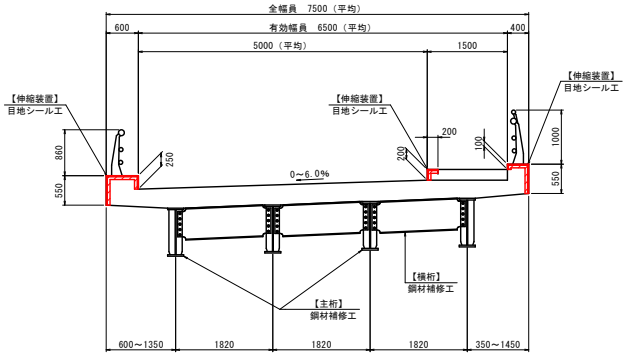
橋梁補修一般図

平野橋

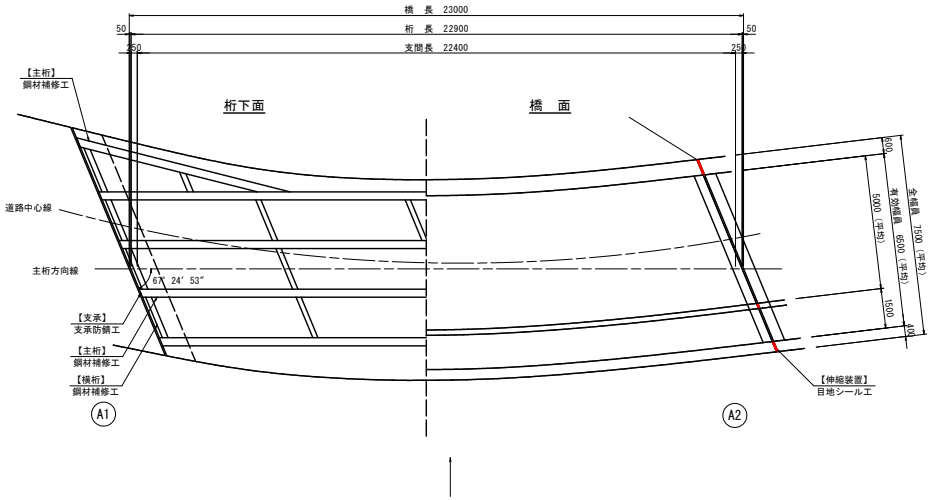
側面図　S=1:100



断面図　S=1:50



平面図　S=1:100



補修概要

工　種	種別・細別・規格	単位	数　量	備　考
鋼材補修工	ULTRA-WAX-TAPE同等品	m2	5.36	主桁、横桁
支承防錆工	ULTRA-WAX-TAPE同等品	m2	0.69	支承
目地シール工	メジエイド同等品	m	5.70	伸縮装置
横桁一時撤去工		式	1	横桁
吊足場	TYPE F	m2	33	仮設

橋梁諸元

項　目	橋梁諸元
橋梁名	平野橋（ヒラノハシ）
路線名	市道江川崎吉野生線
交差物件	河川
橋　長	23.000m
桁　長	22.900m
支間長	22.400m
全幅員	7.500m（平均）
有効幅員	6.500m（平均）
斜　角	右67° 24′ 53″
上部工形式	H桁橋
適用示方書	昭和55年
竣工年度	平成2年(1990年)

（注意事項）

1. 本図面は、点検調書および現地計測による寸法を記載したものである。

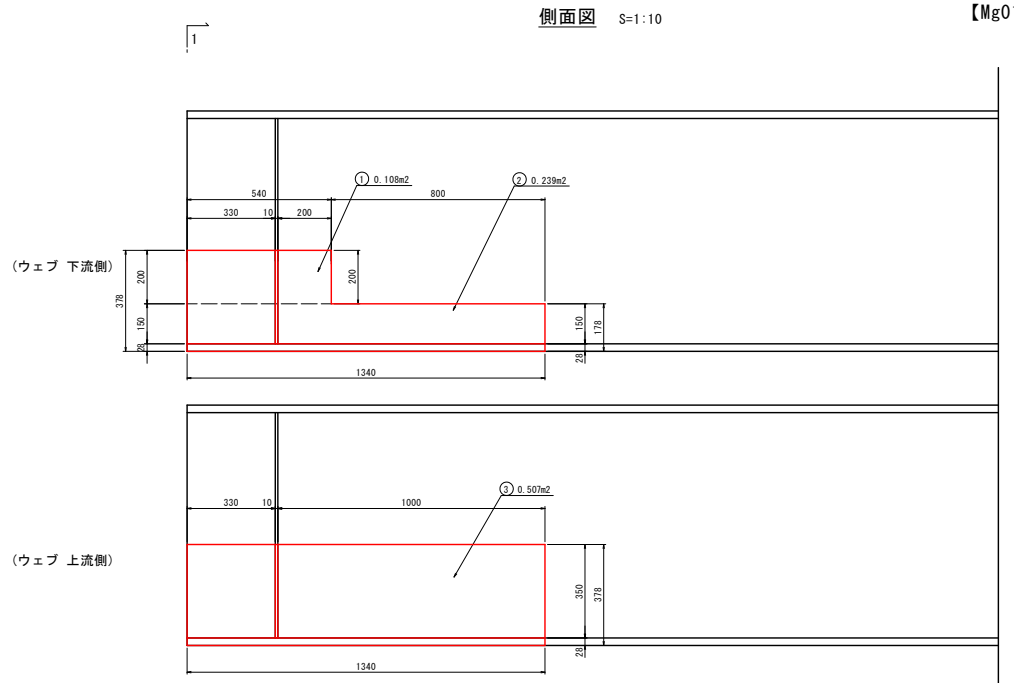
四　万　十　市			
工事種別	令和8年度　道メンテ　第1-10-1号 市道江川崎吉野生線(平野橋)橋梁修繕工事		
図面名称	橋梁補修一般図	縮　尺	図示
路線名	市道江川崎吉野生線		
工事箇所	四万十市　西土佐江川　地内		
設計種別	実施設計	図面番号	1/12
事務所名	四万十市　産業建設課		
会社名			

鋼材補修工詳細図(1/6)

平野橋

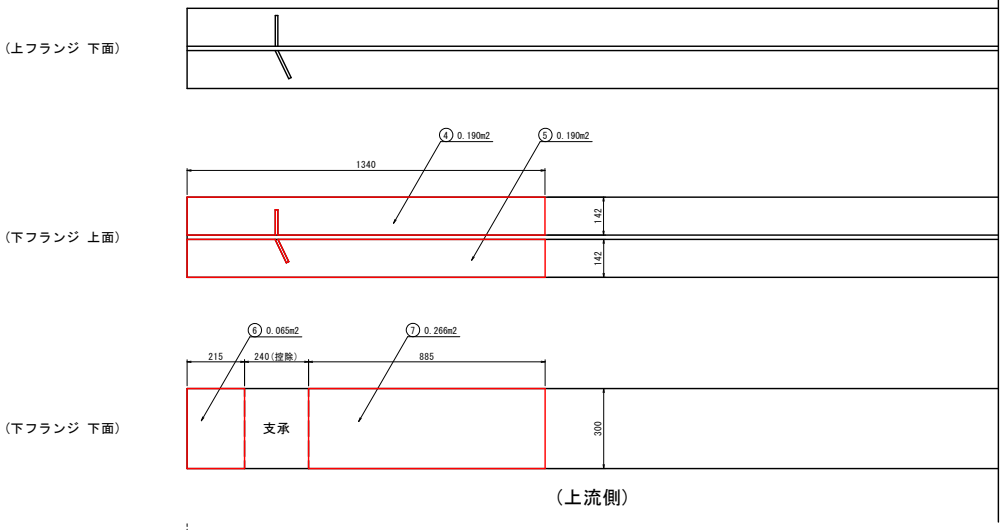
【MgO101】

側面図 S=1:10



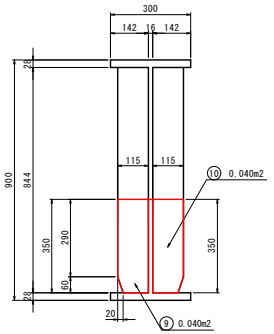
平面図 S=1:10

(下流側)



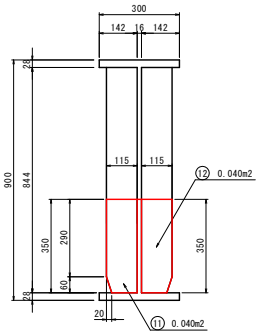
断面図 補剛材 S=1:10

(起点側)



(下流側) (上流側)

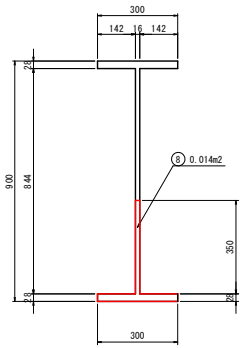
(終点側)



(下流側) (上流側)

断面図 主桁 S=1:10

(1-1)



(下流側) (上流側)

数量集計表 (MgO101)

工種	番号	計算式	単位	数量
鋼材補修工	①	0.540x0.200	m2	0.108
	②	1.340x0.178	m2	0.239
	③	1.340x0.378	m2	0.507
	④	1.340x0.142	m2	0.190
	⑤	1.340x0.142	m2	0.190
	⑥	0.215x0.300	m2	0.065
	⑦	0.885x0.300	m2	0.266
	⑧	0.300x0.028+0.016x0.350	m2	0.014
	⑨	0.350x0.115-0.020x0.060÷2	m2	0.040
	⑩	0.350x0.115-0.020x0.060÷2	m2	0.040
	⑪	0.350x0.115-0.020x0.060÷2	m2	0.040
	⑫	0.350x0.115-0.020x0.060÷2	m2	0.040
	小計		m2	1.739

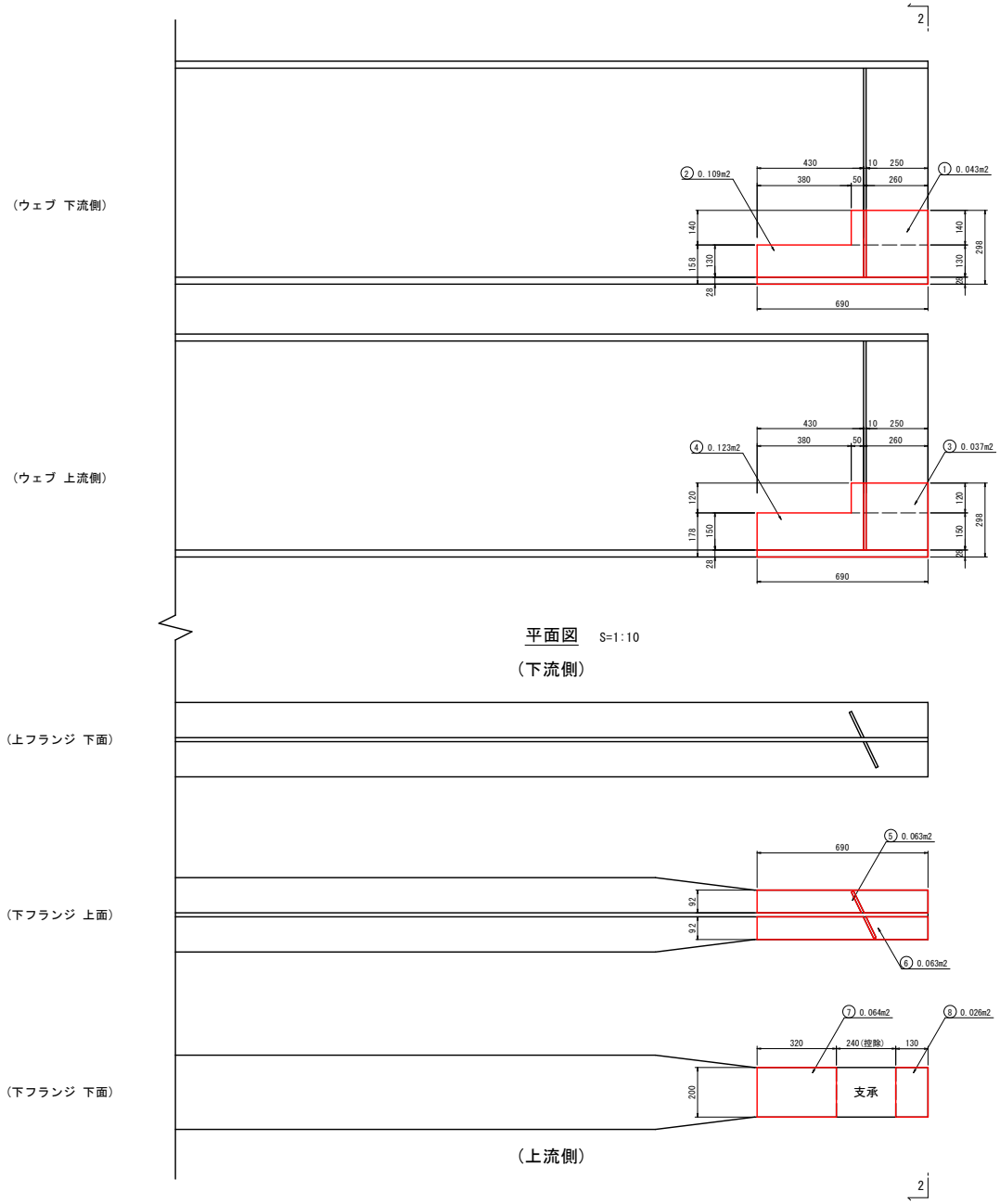
四万十市			
工事種別	令和8年度 道メンテ 第1-10-1号 市道江川崎吉野生線(平野橋)橋梁修繕工事		
図面名称	鋼材補修工詳細図(1/6)	縮尺	1:10
路線名	市道江川崎吉野生線		
工事箇所	四万十市 西土佐江川 地内		
設計種別	実施設計	図面番号	2/12
事務所名	四万十市 産業建設課		
会社名			

鋼材補修工詳細図(2/6)

平野橋

【MgO205】

側面図 S=1:10



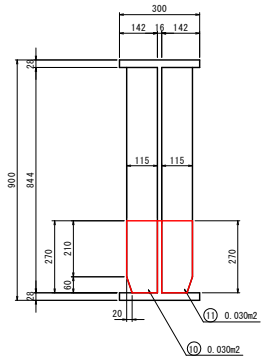
平面図 S=1:10

（下流側）

（上流側）

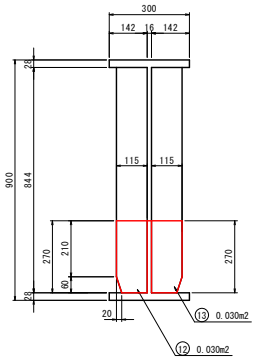
断面図 補剛材 S=1:10

（起点側）



（下流側） （上流側）

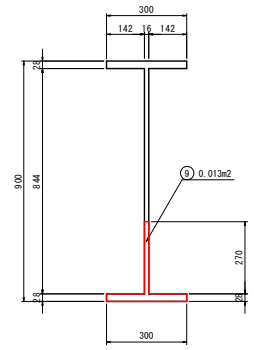
（終点側）



（下流側） （上流側）

断面図 主桁 S=1:10

(2-2)



（下流側） （上流側）

数量集計表（MgO205）

工種	番号	計算式	単位	数量
鋼材補修工	①	0.310x0.140	m2	0.043
	②	0.690x0.158	m2	0.109
	③	0.310x0.120	m2	0.037
	④	0.690x0.178	m2	0.123
	⑤	0.690x0.092	m2	0.063
	⑥	0.690x0.092	m2	0.063
	⑦	0.320x0.200	m2	0.064
	⑧	0.130x0.200	m2	0.026
	⑨	0.300x0.028+0.016x0.270	m2	0.013
	⑩	0.115x0.270-0.020x0.060÷2	m2	0.030
	⑪	0.115x0.270-0.020x0.060÷2	m2	0.030
	⑫	0.115x0.270-0.020x0.060÷2	m2	0.030
	⑬	0.115x0.270-0.020x0.060÷2	m2	0.030
		小計	m2	0.661

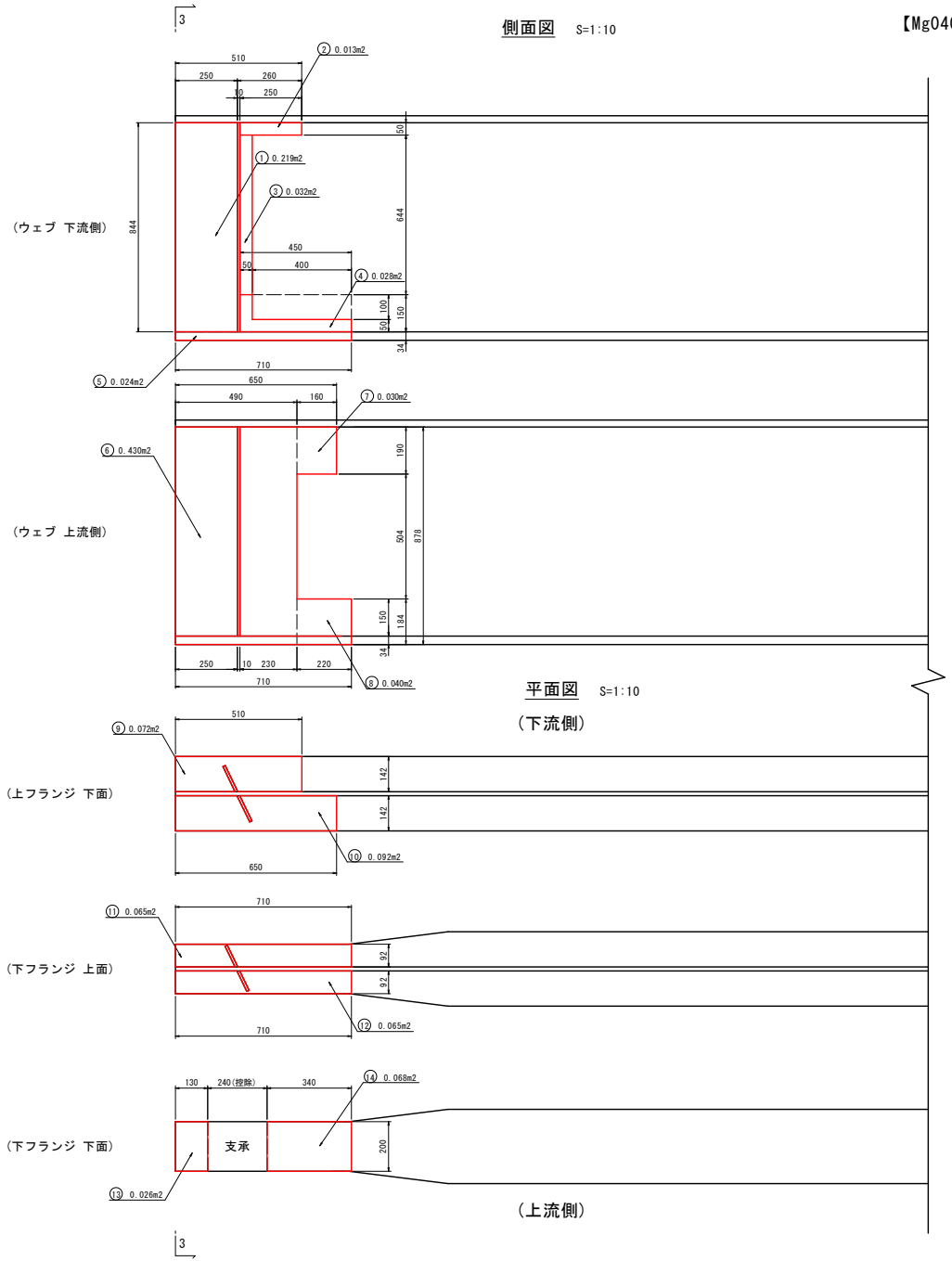
四万十市			
工事種別	令和8年度 道メンテ 第1-10-1号 市道江川崎吉野生線(平野橋)橋梁修繕工事		
図面名称	鋼材補修工詳細図(2/6)	縮尺	1:10
路線名	市道江川崎吉野生線		
工事箇所	四万十市 西土佐江川 地内		
設計種別	実施設計	図面番号	3/12
事務所名	四万十市 産業建設課		
会社名			

鋼材補修工詳細図(3/6)

平野橋

【Mg0401】

側面図 S=1:10



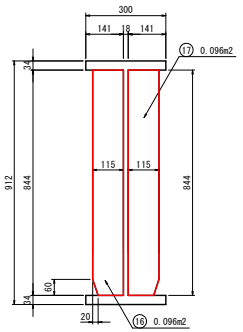
平面図 S=1:10

(下流側)

(上流側)

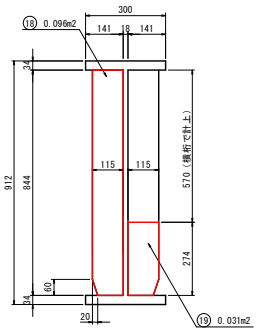
断面図 補剛材 S=1:10

(起点側)



(下流側) (上流側)

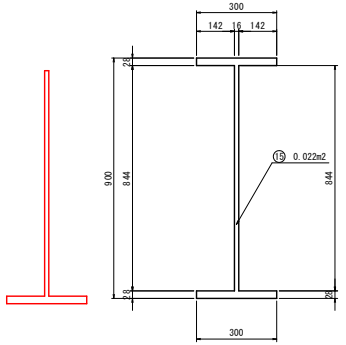
(終点側)



(下流側) (上流側)

断面図 主桁 S=1:10

(3-3)



(下流側) (上流側)

数量集計表 (Mg0401)

工種	番号	計算式	単位	数量
鋼材補修工	①	0.260x0.844	m2	0.219
	②	0.260x0.050	m2	0.013
	③	0.050x0.644	m2	0.032
	④	0.450x0.150-0.400x0.100	m2	0.028
	⑤	0.710x0.034	m2	0.024
	⑥	0.490x0.878	m2	0.430
	⑦	0.160x0.190	m2	0.030
	⑧	0.220x0.184	m2	0.040
	⑨	0.510x0.142	m2	0.072
	⑩	0.650x0.142	m2	0.092
	⑪	0.710x0.092	m2	0.065
	⑫	0.710x0.092	m2	0.065
	⑬	0.130x0.200	m2	0.026
	⑭	0.340x0.200	m2	0.068
	⑮	0.300x0.028+0.016x0.844	m2	0.022
	⑯	0.115x0.844-0.020x0.060÷2	m2	0.096
	⑰	0.115x0.844-0.020x0.060÷2	m2	0.096
	⑱	0.115x0.844-0.020x0.060÷2	m2	0.096
	⑲	0.115x0.274-0.020x0.060÷2	m2	0.031
		小計	m2	1.545

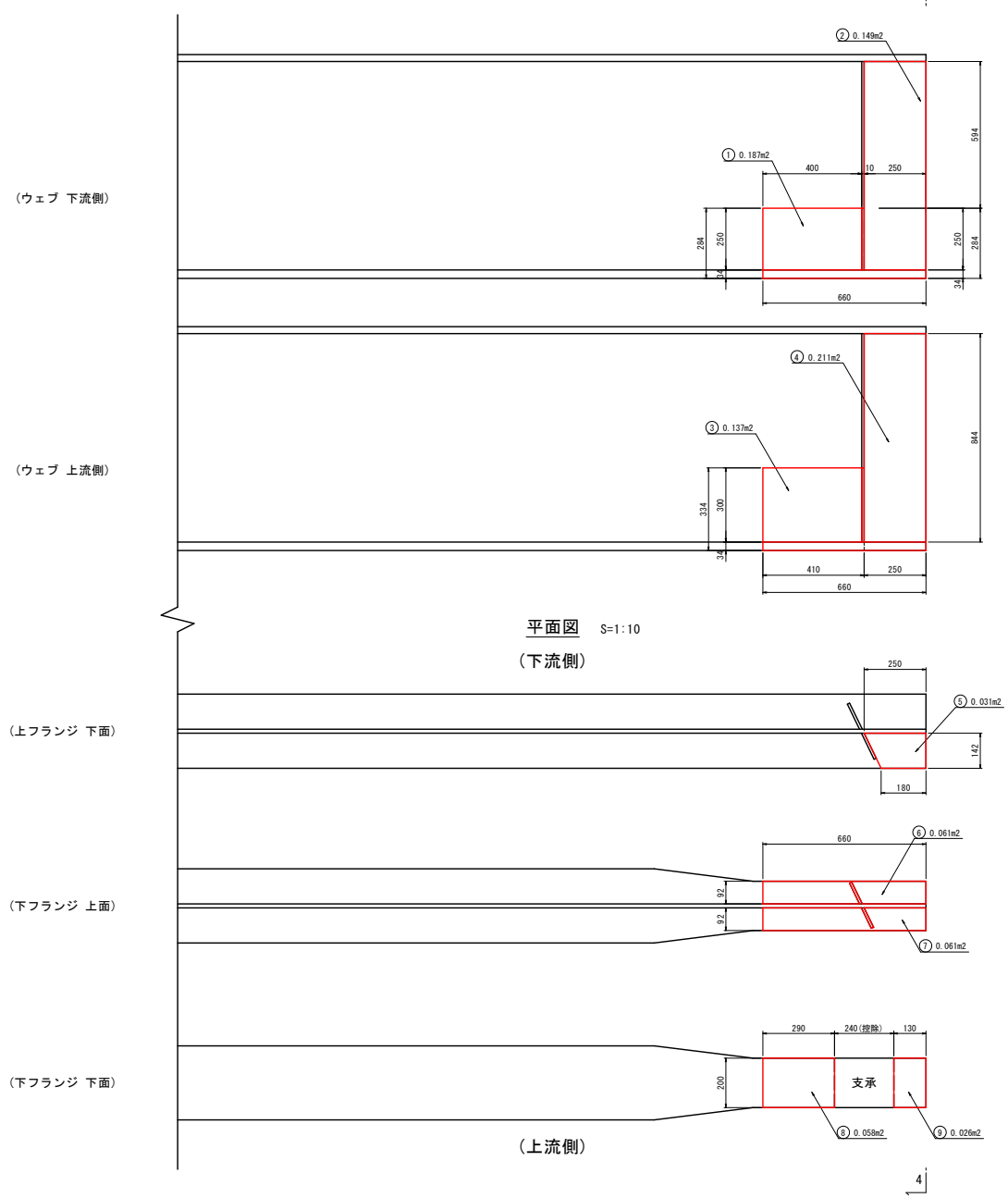
四万十市			
工事種別	令和8年度 道メンテ 第1-10-1号 市道江川崎吉野生線(平野橋)橋梁修繕工事		
図面名称	鋼材補修工詳細図(3/6)	縮尺	1:10
路線名	市道江川崎吉野生線		
工事箇所	四万十市 西土佐江川 地内		
設計種別	実施設計	図面番号	4/12
事務所名	四万十市 産業建設課		
会社名			

鋼材補修工詳細図(4/6)

平野橋

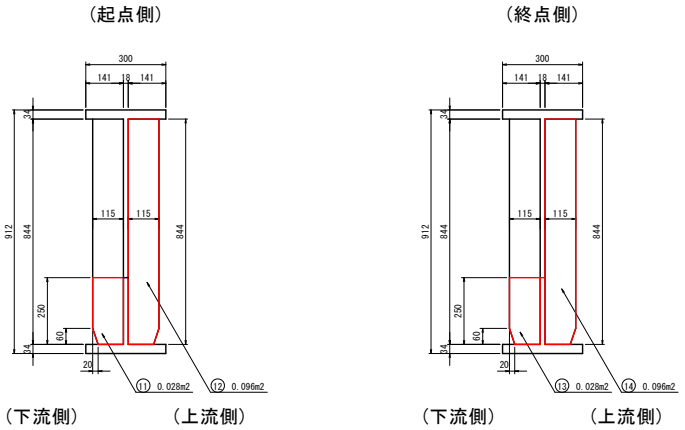
側面図 S=1:10

【Mg0405】

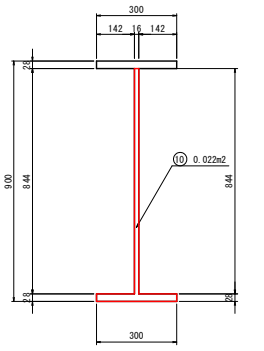


平面図 S=1:10

断面図 補剛材 S=1:10



断面図 主桁 S=1:10



数量集計表 (Mg0405)

工種	番号	計算式	単位	数量
鋼材補修工	①	0.660x0.284	m2	0.187
	②	0.250x0.594	m2	0.149
	③	0.410x0.334	m2	0.137
	④	0.250x0.844	m2	0.211
	⑤	(0.250+0.180)x0.142÷2	m2	0.031
	⑥	0.660x0.092	m2	0.061
	⑦	0.660x0.092	m2	0.061
	⑧	0.290x0.200	m2	0.058
	⑨	0.130x0.200	m2	0.026
	⑩	0.300x0.028+0.016x0.844	m2	0.022
	⑪	0.115x0.250-0.020x0.060÷2	m2	0.028
	⑫	0.115x0.844-0.020x0.060÷2	m2	0.096
	⑬	0.115x0.250-0.020x0.060÷2	m2	0.028
	⑭	0.115x0.844-0.020x0.060÷2	m2	0.096
		小計	m2	1.191

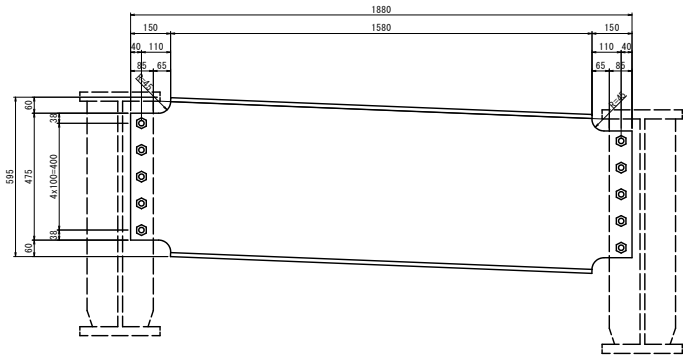
四万十市			
工事種別	令和8年度 道メンテ 第1-10-1号 市道江川崎吉野生線(平野橋)橋梁修繕工事		
図面名称	鋼材補修工詳細図(4/6)	縮尺	1:10
路線名	市道江川崎吉野生線		
工事箇所	四万十市 西土佐江川 地内		
設計種別	実施設計	図面番号	5/12
事務所名	四万十市 産業建設課		
会社名			

鋼材補修工詳細図(5/6)

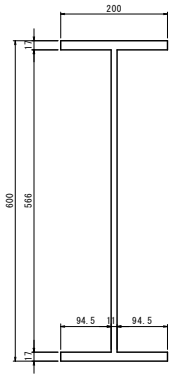
平野橋

【Cr0401】

正面図 S=1:10



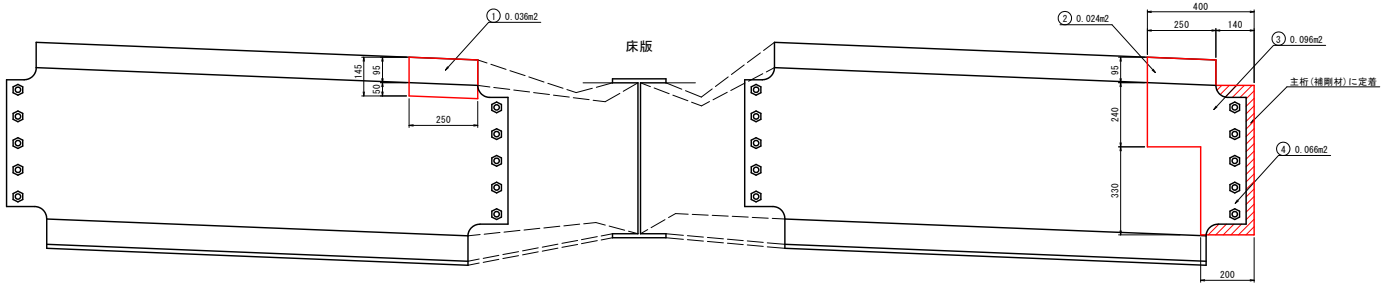
断面図 S=1:5



補修展開図 S=1:10

(起点側)

(終点側)



数量集計表(Cr0401)

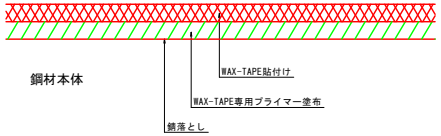
工種	番号	計算式	単位	数量
鋼材補修工	①	0.250x0.145	m2	0.036
	②	0.250x0.095	m2	0.024
	③	0.400x0.240	m2	0.096
	④	0.200x0.330	m2	0.066
		小計	m2	0.222

四万十市			
工事種別	令和8年度 道メンテ 第1-10-1号 市道江川崎吉野生線(平野橋)橋梁修繕工事		
図面名称	鋼材補修工詳細図(5/6)	縮尺	図示
路線名	市道江川崎吉野生線		
工事箇所	四万十市 西土佐江川 地内		
設計種別	実施設計	図面番号	6/12
事務所名	四万十市 産業建設課		
会社名			

鋼材補修工詳細図(6/6)

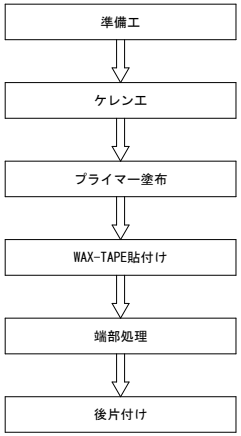
平野橋

防食仕様 S=Free



WAX-TAPEはNETIS No.SK-180017-VR同等品以上とする。

鋼材補修工　施工手順



スクレーパー等で浮き錆の除去を行った後、
ワイヤーブラシ等で施工面の埃・砂などのゴミを取り除く。

WAX-TAPE専用プライマーを施工面全体に均一に塗布する。
※目安塗布量 340g/m2　※手袋着用のこと

WAX-TAPEを施工範囲へ貼付け、しっかりと圧着する。
複雑な形状においてはハサミ等で加工し、形状に沿って施工する。
※WAX-TAPEを重ねる際は30mm以上のラップ幅を確保する
※貼付け時シートを引っ張って伸ばさないこと

端部・継ぎ目においてはシートを潰すように圧着し、
浮きがないことを確認する。
最後に、シート端部およびシート表面に付着したプライマーを拭き取る。

数量集計表

工　種	部　材	規　格	単　位	数　量
鋼材補修工	Mg0101	ULTRA-WAX-TAPE同等品	m2	1.739
	Mg0205		m2	0.661
	Mg0401		m2	1.545
	Mg0405		m2	1.191
	Cr0401		m2	0.222
	合　計		m2	5.358

（注意事項）

1. 本図面は、点検調書および現地計測による寸法を記載したものである。
2. 施工に先立ち現地調査を行い、図面との整合性を確認すること。
   併せて監督職員の了承を得たうえで施工を行うこと。
3. 施工は手作業であり出来形不足が生じやすいため、余裕代として定着長を
   連続性を考慮した上で、標準50mm程度確保している。ただし、コンクリート
   床版へ定着させた場合は、床版からの漏水により施工面内側への浸水が懸念
   されるため、コンクリート床版への定着長は確保していない。
4. 施工が困難な狭隘部を施工する際には、必要に応じて横桁を一時撤去して
   施工すること。
5. 支承防錆工との同時施工を想定しているが、鋼材補修工のみ行う場合は
   支承側への定着長50mm程度を確保するため、施工範囲を拡大すること。

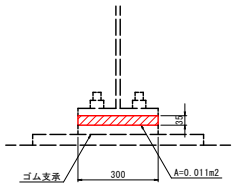
四　万　十　市			
工事種別	令和8年度　道メンテ　第1-10-1号 市道江川崎吉野生線(平野橋)橋梁修繕工事		
図面名称	鋼材補修工詳細図(6/6)	縮　尺	図示
路線名	市道江川崎吉野生線		
工事箇所	四万十市　西土佐江川　地内		
設計種別	実施設計	図面番号	7/12
事務所名	四万十市　産業建設課		
会社名			

支承防錆工詳細図

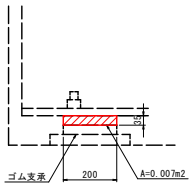
平野橋

可動支承 (Bh0101) S=1:10

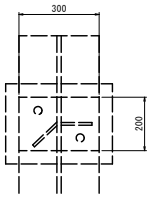
正面図



断面図

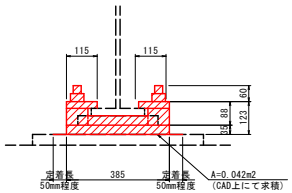


平面図

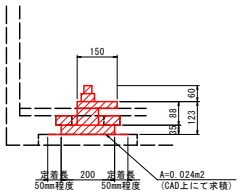


可動支承 (Bh0401) S=1:10

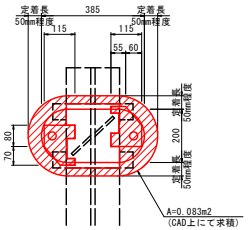
正面図



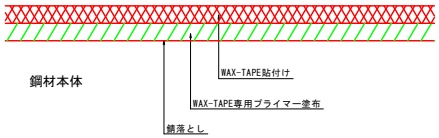
断面図



平面図



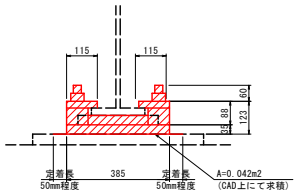
防食仕様 S=Free



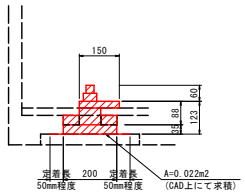
WAX-TAPEはNETIS No.SK-180017-VR同等品以上とする。

固定支承 (Bh0202,0402) S=1:10

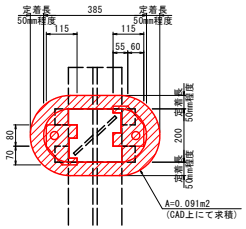
正面図



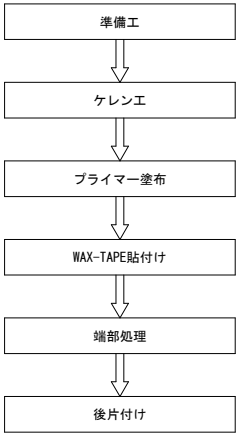
断面図



平面図



支承防錆工 施工手順



スクレーパー等で浮き錆の除去を行った後、
ワイヤーブラシ等で施工面の埃・砂などのゴミを取り除く。

WAX-TAPE専用プライマーを施工面全体に均一に塗布する。
※目安塗布量 340g/m2 ※手袋着用のこと

WAX-TAPEを施工範囲へ貼付け、しっかりと圧着する。
複雑な形状においてはハサミ等で加工し、形状に沿って施工する。
※WAX-TAPEを重ねる際は30mm以上のラップ幅を確保する
※貼付け時シートを引っ張って伸ばさないこと

端部・継ぎ目においてはシートを潰すように圧着し、
浮きがないことを確認する。
最後に、シート端部およびシート表面に付着したプライマーを拭き取る。

数量集計表

工　種	部　材	規　　格	計　算　式	単　位	数　量
支承防錆工	Bh0101	ULTRA-WAX-TAPE同等品	0.011x2+0.007x2	m2	0.036
	Bh0202		0.042x2+0.022x2+0.091	m2	0.219
	Bh0401		0.042x2+0.024x2+0.083	m2	0.215
	Bh0402		0.042x2+0.022x2+0.091	m2	0.219
			合　計	m2	0.689

(注意事項)

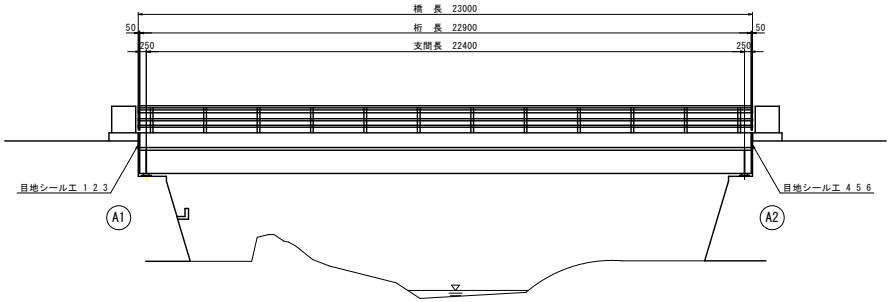
1. 本図面は、点検調書および現地計測による寸法を記載したものである。
2. 施工に先立ち現地調査を行い、図面との整合性を確認すること。
   併せて監督職員の了承を得たうえで施工を行うこと。
3. 施工は手作業であり出来形不足が生じやすいため、余裕代として定着長を
   連続性を考慮した上で、標準50mm程度確保している。ただし、Bh0101については
   ゴム支承へ防錆処理を行った場合、支承の機能を阻害することが懸念されるため
   施工時には貼り付けないよう注意する必要がある。そのため、定着長は確保していない。
4. 鋼材補修工との同時施工を想定しているが、支承防錆工のみ行う場合は
   主桁側への定着長50mm程度を確保するため、施工範囲を拡大すること。

四　万　十　市			
工事種別	令和8年度　道メンテ　第1-10-1号 市道江川崎吉野生線(平野橋)橋梁修繕工事		
図面名称	支承防錆工詳細図	縮　尺	図示
路線名	市道江川崎吉野生線		
工事箇所	四万十市　西土佐江川　地内		
設計種別	実施設計	図面番号	8 12
事務所名	四万十市　産業建設課		
会社名			

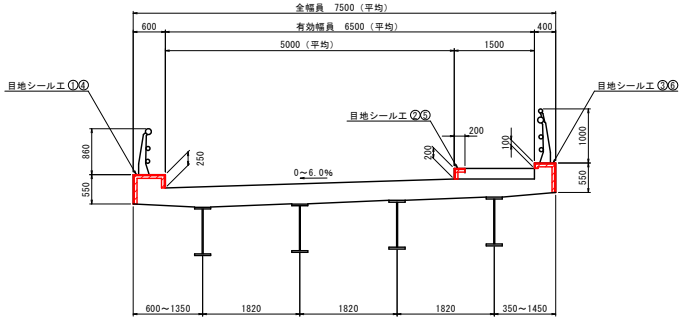
目地シール工詳細図

平野橋

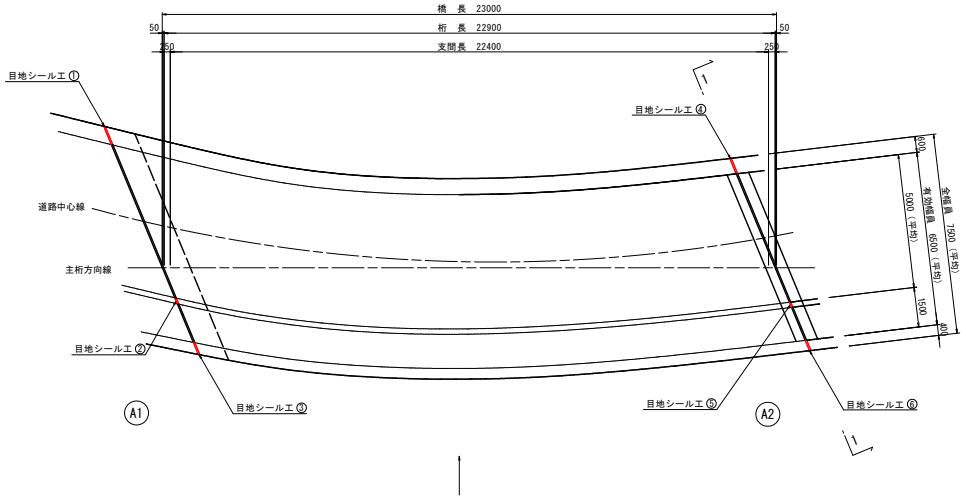
側面図　S=1:100



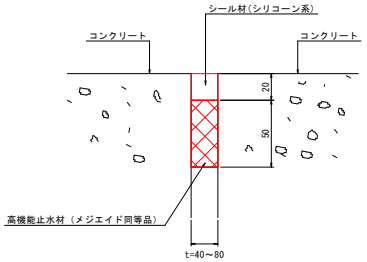
断面図　(1-1)　S=1:50



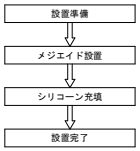
平面図　S=1:100



詳細図　S=1:2



目地シール工　施工フロー

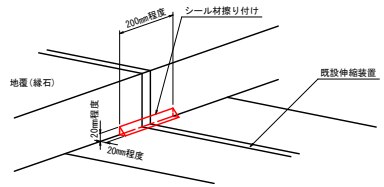


※設置前に接地面の土や埃をケレンで落として清掃する。

（注意事項）

※　橋面上の目地シールは、シール面の下地処理を行い、清浄なコンクリート面を出してシーリングを行うこと。

既設伸縮装置接合部の止水対策　S=1:10



数量集計表

工　種	番号	遊間幅 (mm)	規　格	単位	数量
目地シール工	①	40	メジエイド同等品　w40xt50	m	1.400
	②	55	〃　w55xt50	m	0.400
	③	55	〃　w55xt50	m	1.050
	④	50	〃　w50xt50	m	1.400
	⑤	80	〃　w80xt50	m	0.400
	⑥	55	〃　w55xt50	m	1.050
	合　計			m	5.700

（注意事項）

1. 本図面は、点検調書および現地計測による寸法を記載したものである。
2. 施工に先立ち現地調査を行い、図面との整合性を確認すること。
   併せて監督職員の了承を得たうえで施工を行うこと。
3. 既設伸縮装置との接合部の止水対策を行うこと。

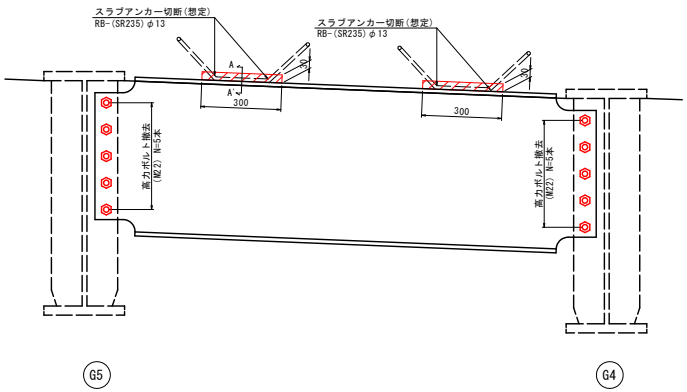
四　万　十　市			
工事種別	令和8年度　道メンテ　第1-10-1号 市道江川崎吉野生線(平野橋)橋梁修繕工事		
図面名称	目地シール工詳細図	縮　尺	図示
路線名	市道江川崎吉野生線		
工事箇所	四万十市　西土佐江川　地内		
設計種別	実施設計	図面番号	9/12
事務所名	四万十市　産業建設課		
会社名			

横桁一時撤去施工要領図(1/2)(参考図)

平野橋

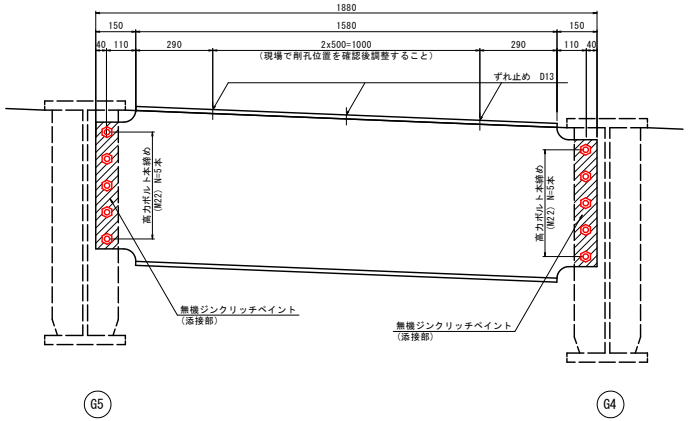
横桁一時撤去詳細図 S=1:10

正面図

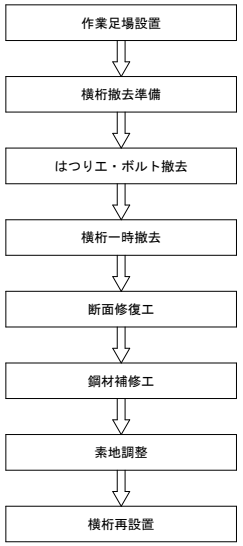


横桁再設置詳細図 S=1:10

正面図



横桁一時撤去 施工手順



撤去する横桁には転倒防止のため事前に架台やチェーンブロックを取り付ける。

高力ボルト(M22)を取り外して既設のずれ止め鉄筋の有無を確認する。ずれ止めが確認された場合は、はつり範囲にカッターを入れ電動ピックにより、はつり除去範囲を除去する。

架台やチェーンブロックを用いて横桁を移動させた後、足場上に仮置きする。

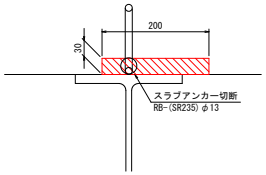
新旧接着面にプライマーを下塗りした後、断面修復材(ポリマーセメントモルタル)によりはつり部を充填する。

垂直補剛材の添接面に錆がある場合には、サンダー等で錆を除去した後ジンクリッチペイント塗装を施す。

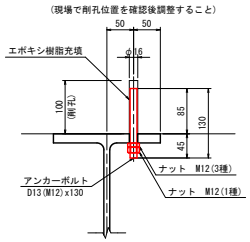
架台やチェーンブロックを用いて仮置きした横桁を所定の位置まで移動させる。ずれ止めのアンカーボルトを設置し固定が確認された後に、高力ボルト(M22)の本締めを行い横桁を再設置する。

ずれ止め詳細図 S=1:5

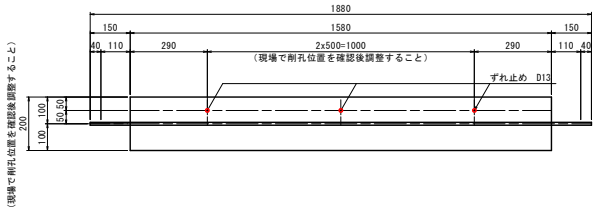
A-A'断面図 (撤去時)



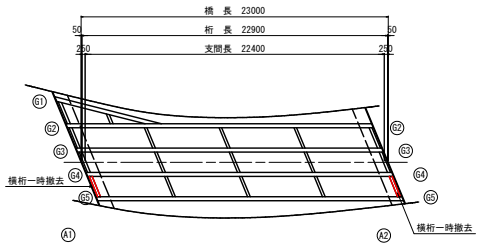
A-A'断面図 (設置時)



平面図



位置図 S=1:200



鋼材重量表 (1箇所当たり)

種別	長さ (mm)	鋼材規格	個数 (個)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
H	1,880	H-600x200x11x17	1	103	193.64	193.64	流用
					質量	193.64	
T.C.B		M22x55	10		0.478	4.78	新規
Anc.B	130	D13x130	3		0.13	0.39	新規
2-N		M12	3		0.029	0.09	新規
					質量	5.26	
					総質量	198.90	

断面修復工 (1箇所当たり)

数量集計表			
部位		計 算 式 (mm)	体積(m3)
床版	左側	200x30x300	0.0018
	右側	200x30x300	0.0018
	合計		0.0036

(注意事項)

1. 本図面は、点検調書および現地計測による寸法を記載したものである。
2. 施工に先立ち現地調査を行い、図面との整合性を確認すること。
   併せて監督職員の了承を得たうえで施工を行うこと。
3. ずれ止めアンカーは、事前に鉄筋探査を行い、床版の鉄筋に干渉しない位置を確定してからフランジの穴あけ加工を行うこと。
4. 施工に必要な吊り用タップは適宜設けること。
5. 一時撤去から再設置までの期間は、車両の通行止めを行うこと。
   通行止めの範囲は、取り外した横桁の直上を通行させないよう定めること。

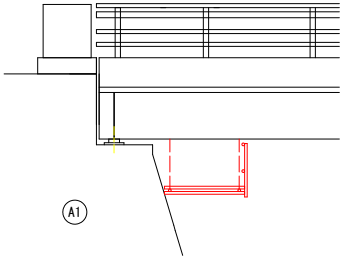
四 万 十 市			
工事種別	令和8年度 道メンテ 第1-10-1号 市道江川崎吉野生線(平野橋)橋梁修繕工事		
図面名称	横桁一時撤去施工要領図 (1/2)(参考図)	縮 尺	図示
路線名	市道江川崎吉野生線		
工事箇所	四万十市 西土佐江川 地内		
設計種別	実施設計	図 面 番 号	10 12
事務所名	四万十市 産業建設課		
会社名			

横桁一時撤去施工要領図(2/2)(参考図)　S=1:50

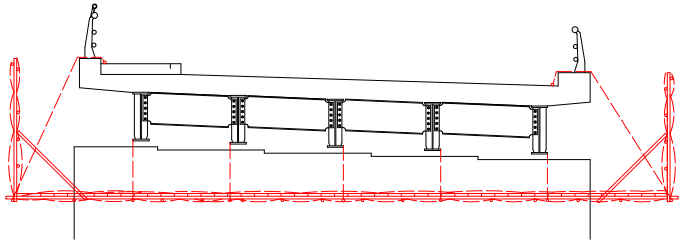
平野橋

STEP-1

側面図

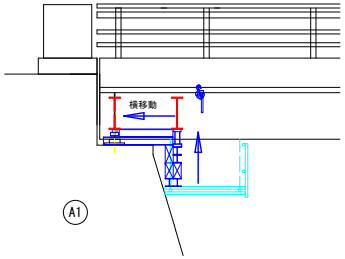


断面図

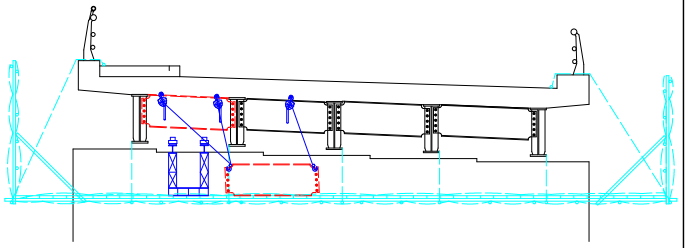


STEP-4

側面図

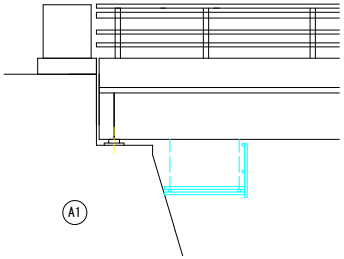


断面図

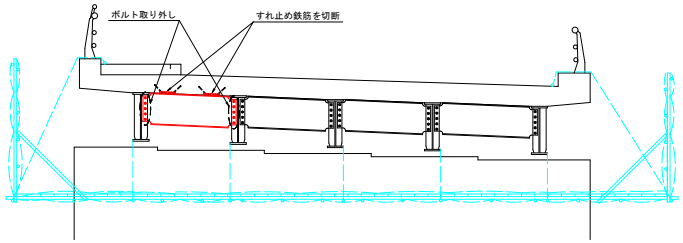


STEP-2

側面図

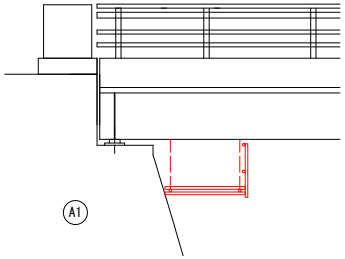


断面図

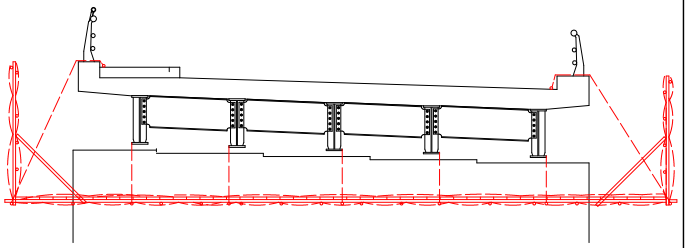


STEP-5

側面図

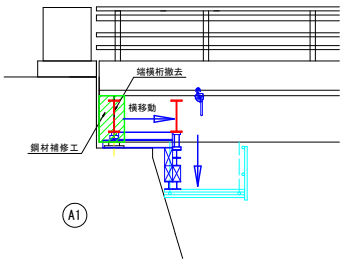


断面図

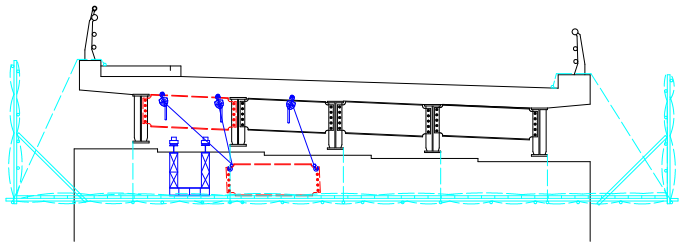


STEP-3

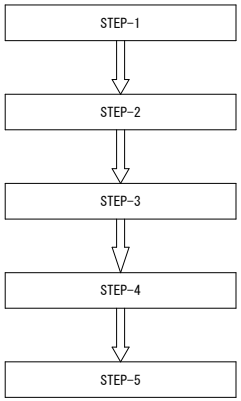
側面図



断面図



横桁一時撤去　施工手順



端横桁一時撤去および主桁と横桁の鋼材補修工用の吊り足場を設置する。

はつり範囲にカッターを入れ電動ピックにより、はつり除去範囲を除去し、ずれ止めの鉄筋を切断する。
取替る端横桁のボルトを取り外す。
新旧接着面にプライマーを下塗りした後、断面修復材(ポリマーセメントモルタル)によりはつり部を充填する。
鉄筋探査を行い、ずれ止めアンカーを設置する

取り外した既設端横桁を、架台やチェーンブロック等で移動させる。
主桁端部の鋼材補修工(WAX-TAPE貼付け)を行う。

端横桁は、チェーンブロックにより吊り上げて、架台等で桁の間まで移動させる。
ジャッキ等で橋座の高さまで持ち上げた後、H鋼材等の梁上を端部まで人力またはウインチ等で移動させる。
端横桁取付箇所に設置した油圧ジャッキ等で、取付位置まで持ち上げてトルシアボルトで
垂直補剛材に固定するとともに、床版にずれ止めアンカーボルトで固定する。

端横桁の取付が完了した後、吊り足場を撤去して完了。

(注意事項)

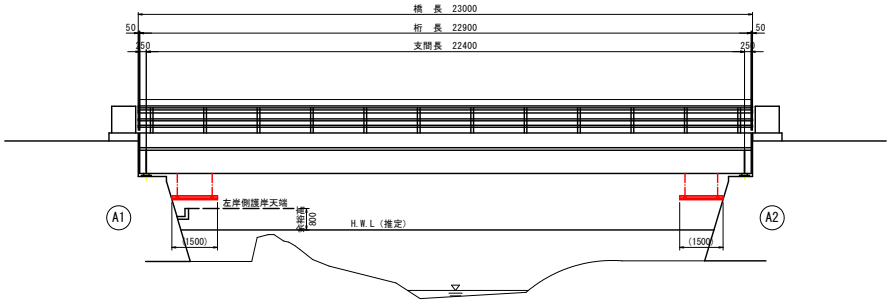
1. 本施工要領はあくまで参考であり、受注者独自の施工方法を妨げるものではない。
2. 吊り足場に関しては、標準の吊り足場を想定しているため、重量物を足場上に載せる場合には荷重を計算して補強を行うこと。

四　万　十　市			
工事種別	令和8年度　道メンテ　第1-10-1号 市道江川崎吉野生線(平野橋)橋梁修繕工事		
図面名称	横桁一時撤去施工要領図 (2/2)(参考図)	縮　尺	1:50
路線名	市道江川崎吉野生線		
工事箇所	四万十市　西土佐江川　地内		
設計種別	実施設計	図面番号	11 12
事務所名	四万十市　産業建設課		
会社名			

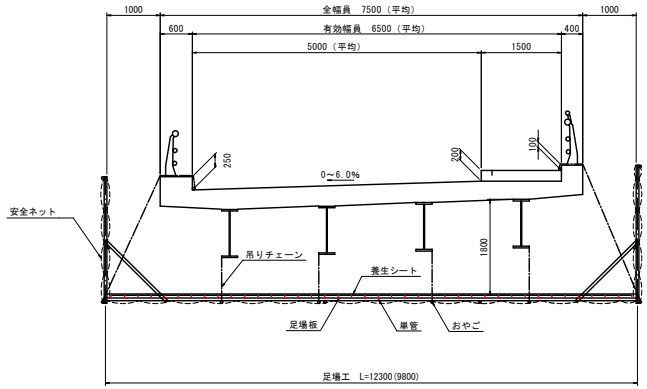
仮設足場図(参考図)

平野橋

側面図　S=1:100

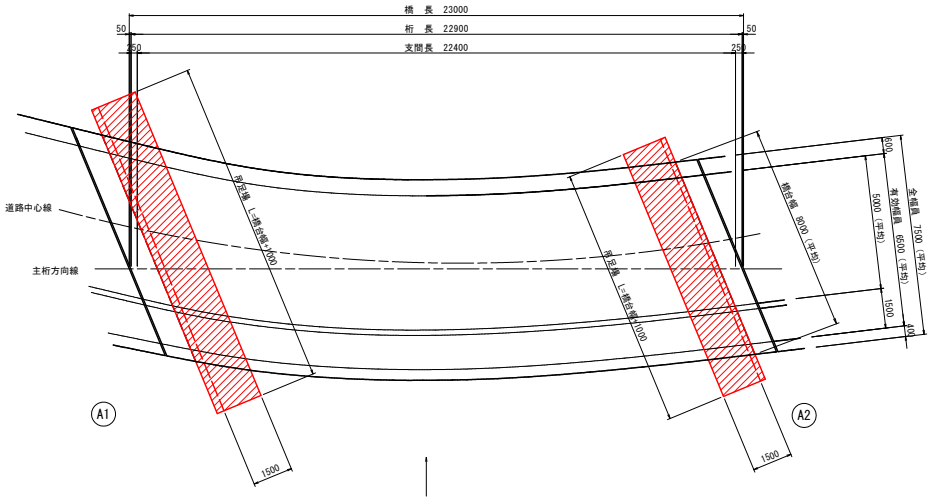


断面図　S=1:50



※（ ）値はA2橋台側を示す

平面図　S=1:100



仮設足場工

工　種	規　格	計　算　式	単位	数　量
吊足場	TYPE F	((8.0+2)×1.5×2+0×1×2)×2/2	m2	32

（注意事項）

1. 本図面は、点検調書および現地計測による寸法を記載したものである。
2. 施工に先立ち現地調査を行い、図面との整合性を確認すること。
   併せて監督職員の了承を得たうえで施工を行うこと。

四　万　十　市			
工事種別	令和8年度　道メンテ　第1-10-1号 市道江川崎吉野生線(平野橋)橋梁修繕工事		
図面名称	仮設足場図(参考図)	縮　尺	図示
路線名	市道江川崎吉野生線		
工事箇所	四万十市　西土佐江川　地内		
設計種別	実施設計	図　面 番　号	12 12
事務所名	四万十市　産業建設課		
会社名			